

国立大学図書館協会地区協会助成事業 実施報告書

地区名	中国四国 地区（主担当大学： 広島大学）
事業名	平成 25 年度実務ワークショップ
事業目的・趣旨	国立大学法人化により各大学の自由裁量の枠が増えたことはそのメリットの一つであるが、その実現方法と効果は大学によって大きく差異があり、全てがメリットを活かしきれているとはいえない。図書館のルーチンワークは一部業務委託も進みつつあり、現場の図書館員には、よりよくルーチンを進めるための業務改善や課題の解決が必要とされている。本ワークショップでは、このルーチンワークに焦点を絞り、担当者間での課題や情報の共有および研鑽の場を設け、業務の改善につなげることを目的とする。平成 25 年度は ILL 実務ワークショップとし、従来の ILL 地域講習会の操作研修とは異なる『実務上の課題』を共有し解決する場とする。
実施内容	【対象】 図書館職員（主として中国四国地区の大学図書館職員） 【会場】 香川大学 研究交流棟 5 階研究者交流スペース 【日程】 12 月 20 日（金）13:00-17:00 【プログラム】 12:30-13:00 受付 13:00-13:10 開会挨拶 13:10-14:20 講演 「GIF プロジェクト：10 年目の現状と今後について」 講師： 細川 聖二 氏 （筑波大学附属図書館情報サービス課長） 14:20-15:10 事例報告 鳥取大学医学図書館 足立 美和 島根大学附属図書館 金子 尚登 広島大学図書館 瀧脇 有姫 15:10-15:25 休憩 15:25-16:50 グループ討議（ワールド・カフェ方式） 16:55-17:00 講評・閉会挨拶
事業の成果（アンケート調査結果、事業への意見・感想等）	【参加者】 20 機関 26 名 【参加者内訳】 設置別（国 14 公 0 私 6）地域別（中国四国 24 他 2） ルーチンワークに関する情報共有の場として、中国四国地区協会のグループ内で企画し、これまで拝聴機会のなかった GIF プロジェクトについて知見を広め、ワールドカフェ形式のグループ討議によってさまざまな課題やトラブル対応事例を共有することができた。アンケート詳細は別紙のとおり。

経費

項目	数量	収入	支出	残額
国立大学図書館協会地区助成金		120,000		120,000
講師旅費・宿泊費 筑波大学―高松			46,010	73,990
ポストイット (R) 149×200mm(4色入り)	1		3,728	70,262
模造紙白 (10枚1セット)	1		666	69,596
プロッキー8色セット@884円	4		3,536	66,060
レールホルダー10冊入り@1029円	4		4,116	61,944
ダルママグタッチ 4個入り@294円	2		588	61,356
ループ名札 10枚入り@1,100円	4		4,400	56,956
郵送料			682	56,274
会議費 (昼食)			4,180	52,094
IPSi0 SP トナーカートリッジ 6100	1		22,050	30,044
郵送料			346	29,698
合計		120,000	90,302	29,698